

工学部・薬学部で学べる データサイエンス

文部科学省認定

「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を実施

山陽小野田市立山口東京理科大学が実施する「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」が、文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム リテラシーレベル」及び「数理・データサイエンス・AI教育プログラム リテラシーレベルプラス」に全国の公立大学で唯一選定されました。



特色

課題解決型の文理
融合した数理・データ
サイエンス教育

地域産業界と
連携したデータ
サイエンス教育

学習支援システム
と補完的教育

地域課題解決に
向けた情報技術の
活用

学生の関心を
高め、知識・技術を
偏りなく修得

薬学と工学とが
連携する薬工連携
教育プログラム

01

データ・AIは、現在進行中の社会変化（第4次産業革命、Society5.0等）に深く寄与しているものであり、私たちの生活と密接に結びついていることを学ぶ

導入

<社会における
データ・AI活用>

02

社会で利用されているデータの活用領域は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得ることを学ぶ

心得

<データ・AI活用
における留意事項>

03

様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例を通し、数理・データサイエンス・AIは、様々な適用領域の知見と組み合わせることで価値を創出することを学ぶ

04

活用に当たっての様々な留意事項（個人情報保護、データ倫理等）を理解し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項を学ぶ

基礎

<データリテラシー>

05

実データ・実課題（学術データ等を含む）を用いた演習など、社会での実例を題材として「データを読む、説明する、扱う」といった基本的な活用法を学ぶ

学習内容

どの学部・学科に所属していても、学習内容（1）～（5）に対応した科目をそれぞれ2単位以上修得した場合、数理・データサイエンス・AI教育プログラムを修了したと認定します。